寝取られシチュエーション♡

ホテル支配人と未亡人の不倫の結末

～不倫が見つかってパンスト直穿き愛人を匂いごと寝取られる物語～

ありのりあ様

第一章　出会い

（事務所で作業をしている副支配人。フロントに千尋が現れる。）

こんにちは、本日面接をお願いしていた楠と申します。副支配人をお願いできますでしょうか。

（こちらでお待ちくださいと案内される。）
あ、はい。ありがとうございます。

（数分待ち、副支配人が現れる。）

あ、初めまして。楠と申します。本日は宜しくお願いいたします。
すみません、私が面接を希望した日にちが支配人のお休みの日だったようで。

（「大丈夫です、お座り下さい」）
ありがとうございます、失礼します。

（世間話を少々）
そうですね、今日は蒸し暑いです。はい、バスで来ました。家からバス停までは歩いて一〇分くらいです。

（「大変ですね」と言われ愛想笑いをしながら）
そうですね～、夏は少し歩くだけでもじっとり汗ばんじゃうので大変です。

（「パンストを穿くのは慣れているか」と聞かれ、やや怪訝そうにしながらも笑顔で答える）
…パンストですか？そうですね、前職がＯＬでしたので、毎日穿いてました。
確かに蒸れやすいというのもありますけど、私は嫌いじゃないです。
脚を綺麗に見せてくれますし、パンスト着用のお仕事は清潔感があるという印象がありますので、そこは全く気になりません。

（パートの経験はありますか？）
前職は正社員でしたので、パートの経験はありません。
結婚を機に会社を辞め、専業主婦として主人に甘えていたのですが、その主人が半年前に他界しまして…

（それはお気の毒様でした）
いえ、しばらくは塞ぎ込んでいたのですが、周りに励まされながら少しずつ元気をもらい、働こうという気持ちになってきましたので今は大丈夫です。

（志望動機は？）
はい、志望動機は先程のお話にも少しありましたが、ホテルのフロントは清潔感があり、昔から憧れていた職業でもあります。
色々と不幸なこともありましたが、積極的に前を向けるようなお仕事がしたいと思い、御社を志望しました。

（強いんですね）
いえ、強くなんかありません。ただ周りの人達に恵まれていただけで。
それに、元々働くことが好きでしたので、今度は私が頑張って恩返ししなきゃっていう気持ちでいっぱいです。

（ゆくゆくは正社員も考えてくれますか？）
え、正社員ですか？……そうですね、私でもそういったお話が頂けるのであれば考えたいと思います！

（何かご質問があれば）
質問ですか…どんな些細なことでも……そうですね……
仕事の内容とは違うのですが、その…私の年齢でもホテルのフロントは務まりますでしょうか？（苦笑）
スタッフの方達も若い方が多いみたいで。副支配人もきっとお若いですよね…？

（三〇歳です）
……やっぱりお若いですね。。じゃあ支配人以外は全員私より年下になるんですね。
（気になりますか？）
あぁ、いえ、私でも務まるのであれば、特に気にしません。

（立ち仕事の経験はありますか？）
…立ち仕事ですか？いえ、経験はありません。

（年齢がどうこうより、靴の違いですね）
年齢というよりは靴の違い……あぁ、女性はパンプスだから余計に足が疲れやすいんですね。
前職でもパンプスを履いて勤務していましたが、座り仕事でも夕方には足がムクんで大変でした（笑）

そうですね、なるべく負担をやわらげてくれそうなパンプスを探しておきます。

はい、本日はお忙しい中お時間を頂き、ありがとうございました。

合否のご連絡、楽しみにお待ちしております！

第二章　甘い夜

（場面変わって三年後。ホテルの一室でワイングラスを片手にソファで二人寄り添うように座っている。）

うっふふふ、あの運命的な出会いからもう三年ね。

え？別に普通だろって？まぁ、普通と言えば普通だけど…ヒトって運命じゃなければ出会わないんだから。

それより、今日は奥さん平気なの？年下の可愛い奥さんを放っておいて、こんなオバさんと不倫なんて。

（オバさんは早いだろ～）

何言ってるのよ、もうオバさんよ。フロントのメンバーの中では私が一番年上なんだし。

かと言ってパートだから下に見られてるような所もあるし、結構複雑なんだからね。

う～ん、正社員かぁ………

え、支配人も推してくれてるの？…あ、じゃなくて今はエリアマネージャーだよね。

そして新しい支配人はアナタ。昇進おめでとう。（効果音：チーン）フフッ、何回目よ（笑）

やっぱしさぁ、運命だと思う。

何がって…アナタと私の出会い。

だってあの時、もしアナタじゃなくてマネージャーが面接官だったらさ、私落とされてたかもしれないじゃない。

普通に考えたらさ、若い子ばかりの職場でそこそこ体力が必要な仕事で、アラサーの女性ってなかなか受からないような気がするのよね。

しかもお客様の前に立つホテルの顔として。

まぁ確かに…主人を亡くした件で少しくらいは同情される部分もあったかもしれないけどね。
え～、マネージャーがロリコンだったから若い子が多い？あっはは、確かにその線は怪しいかも。

でもそれよりも何よりも、あの時副支配人だったアナタは……年上の女に興味があった。（ｻﾞｰﾝ）
（そ、そんなことないよ）
ううん、きっとそう。だって覚えてるわよ？面接に託（かこつ）けてパンストのことを熱心に聞いてきたじゃない。
あっはは、顔赤くなってる～。
私、気付いてたわよ?アナタが年上好きのパンストフェチだってこと。
だってアナタと同じシフトになると、いつも私の脚ばかり見てたじゃない。
私よりもずっと若い子が隣にいるのに、アナタはいつも私の脚を…うぅん、パンストを見ていた。
女はね、そういうイヤらしい視線には敏感なのよ。

だからあの時、アナタが面接官じゃなかったら私はここにいないし、こうやって職場のホテルの一室を抑えて密会なんてことはしていないと思うのよね。
奥さんが可哀想。
んっふふふ、冗談よ、じょうだん。今日は飲みましょう。支配人昇進のお祝い。
私の心はずっと前からアナタに支配されているけどね……な～んて。
乾杯。（チーン）

第三章　濡れ場／其の一

（ソファで濃厚なディープキス）

、、、んぅ、、っ、、、、、、んふっ、、、、、、、チュッ、、チュパッ、、、、んふっ、、、ンハァ、、、ハァ、、ハァ、、、、はむぅ、、ンッ、、、、チュッ、、、っはぁ、、はぁ、、、愛してる、、、、んっ、、、、んふっ、、、チュッ、、、、んむっ、、、、んんぅう、、、んふっ、、、ンハァ、、、

わかってるでしょ?、、はぁ、、チュッ、、、ンハァ、、、ッ、、私にはアナタしかいないって、、、、
んふっ、、、んぅう、、ンッ、、、、チュッ、、、チュッ、、、、チュパッ、、、、ンハァ、、はぁ、、、んっ、、、
我儘は言わないから、、、ンッ、、チュッ、、ンハァ、、、一緒にいる時だけは、、奥さんのことは忘れて、、、んふっ、、、、ッ、、、はむぅ、、、好き、、、、大好きなの、、、
ンッ、、、チュッ、、んふっ、、、、ふぅ、、、はぁ、、、んむっ、、、、んふぅ、、ッ、、、ンッ、、、ンハァ、、もっと愛して、、、はぁ、、ンハァ、、、いいでしょ?
……今日はパンティー穿いてないの……あなたの大好きなパンスト…直穿きしてきたの……ッ……触ってみて………

あはぁ、、ンッ、、、、パンスト直穿きで、、八時間もフロントに立たされて、、、ンッ、ンハァ、、、アナタと会えるこの時間を楽しみにしてたの、、、んっ、、ハァ、、ッ、、、お客様の前では平然と業務をこなしながら、、、パンストを湿らせてたの、、、ンッ、、あっ、、ハァ、、、!
ねぇ…今日は館内空調の設定温度がいつもより高くなってたのはどうして?、、はぁ、、っ、、、温度調整は責任者しかできないことになってるから、シフトのみんなも暑がってたわよ?
ぁんっ、、アナタは私のパンストをムレムレにしたくて温度を上げた、、ッ、、そうでしょ?

(うん、そうだよ)
やっぱり、、、変態、、超スケベ、、、、ンッ、、おかげですっごく蒸れちゃったんだからね、、
どこがって……ンッ…今アナタが触ってる所とか……パンプスの中だってそうよ…
今日はお客様が多くてあちこち歩き回っていたし、チェックインも多くて大変だったんだからね。
休憩も少ししか取れなかったからパンプスもずっと履きっぱなしだし。
絶対臭いから今日はパンプス脱がないからねっ!
ダ~メ、あなたがよくっても私が恥ずかしいから今日はダメ。
匂いが部屋中に充満しちゃうからヤダ。
勝手に空調温度を高く設定した罰よ(笑)
ただでさえ立ち仕事は蒸れるんだから、余計なことは今後しないで下さいね、支配人。

…え?そろそろしゃぶってほしい…?

私のパンストの話を聞いてたら興奮してきちゃった？
匂いを想像したらギンギンに勃起しちゃったの…？

もうヤダ～、この変態支配人め！（笑）
しょうがないな～、いいわよ。

……支配人の汗で蒸れたオチンポ……しゃぶらせて下さい…

第四章　濡れ場／其の二

私達が暑かったってことは…暑がりのアナタは相当暑かったんじゃない？沢山汗をかいたの？
……っ、、、凄い……ズボン脱がせただけですっごく匂ってる…匂い嗅いでいい？
スンスン、、んはぁ………ピッタピタのボクサーパンツからエロい匂いがしてる。
スゥゥ、、スンスン、、、っ、、ぅはぁ……今日はいつもより臭い気がする…
男臭いっていうか……うん、オスの匂いがプンプンしてる感じ。
パンツに染みまで作っちゃって…乾いては濡れ、乾いては濡れの繰り返しでこんなにパンツを汚したの？
何重にも輪っかになって染みができてるわよ？
我慢汁でベトベトにしながら接客だなんて…支配人失格じゃない？
スゥゥ、、スンスン、、スン、、、スンスン、、、スゥゥ、、、ンハァァ、、、っ、、ハァ、、私も興奮してきちゃった。
パンツ脱がしていい？
…っ……ありがとう……
（パンツを脱がす）ぅんしょっと……
あぁ、出てきた………逞しいアナタのオチンポ………すっごい勃起してる…
………スン…、、ッ、、、く、臭い……ほんっとに臭いわよ、今日。
ハァ、ハァ、、スン、、スンスン、、、ンハァ、、、このカリの所……スンスン、、んふんぅ、、臭過ぎる、、、頭がクラクラする。

（グイッとチンポを前に突き立てられる）
ゃ、、ちょっと、先っちょが鼻に着いちゃったじゃない！
我慢汁が鼻に……ぅ、くっっさ！
スン、スンスン、やだ～、お鼻が臭いよ～、、
（早くしゃぶりたい？）
うん、もうしゃぶりたい。。
（じゃあもう一回さっきの言って）
え～、もう一回？

ハァ、、っ、、ハア、、ハア、、、

……支配人のくっさいオチンポを……早くしゃぶらせて下さい…

（耳元から口元へ移動しながらキス）チュッ…ンッ………レロ…ンハァ………んふっ……ンッ………チュゥ……チュッ、、、んふっ……ンッ…
………ンハァ………ハァ……
この口で…今からたっくさん愛してあげるからね……ハァ……

はぁぁむっ…………ッ………んふぅ、、、ンッ、、、ジュブッ、、ッ、、、んっ、、
んふっ、、、チュッ、、チュパッ、、、ンハア、、ハア、、うん、おいしい……いつもより少ししょっぱくて汗臭いけど……それが好き…
はむっ、、、んふっ、、ジュルッ、、、ンッ、、、、んふっ、、、チュッ、、、んっ、、んふぅ、、、ふぅ、、ンハア、、はぁ、、
（口ではむはむしながら）奥さんにもフェラしてもらってるの？ハア、、レロレロ、、、奥さんのフェラと、、ンハア、、私のフェラ、どっちが好き？んふっ、、ジュプッ、、ンッ、、、ブッ、、、んふっ、、、ごめん、嘘……答えなくていいから………はむっ、、んふぅ、、、
ふぅ、、ジュブッ、、、ンッ、、、んふっ、、、
（シックスナインしよう）
え、シックスナイン…？ヤダ、恥ずかしい……電気消せばいいとかそういう問題じゃなくて…
何がって………匂いとか。
ホントに今日はやめて？その分私が尽くすから。（オチンポにキス）チュッ。
確かに…その為に直穿きしてたんだろって言われちゃうとそうなんだけど……アナタがエアコンの温度を高くしたせいで沢山汗かいちゃったし、ホントに恥ずかしいから……。
お互い様って言われても、アナタは男で私は女なのよ…… 一緒にしないでよ。
手で触るのもセックスするのも構わないけど、クンニだけはやめて……チュッ。

………っ……だったらお預けって、そんな……折角久しぶりに二人きりになれたのに。。フェラだけして帰るなんて、私我慢できない。
…どうしてもダメ？シックスナインがいいの…？
はぁ…わかったわ……あんまり匂わないでね。。

（ベッドに移動）

じゃあベッドに横になって。
恥ずかしいからお布団被っててもいい？
え〜、なんでダメなの〜？もうホントやだぁ。
じゃぁ…せめてもう少し灯りを暗くしてくれない？……うん、そう、そのくらい。ありがとう。
パンプスは履いたままでいいでしょ？
だから今日は絶対ダメだって。
リネンスタッフの方、ごめんなさい。今日だけは許して下さい……！
じゃあ跨るわよ…

（横になった支配人の顔に跨る）よいしょっと……っ…こんな感じでいい？
（あぁ、よく見えるよ）
ハァ………ホント恥ずかしいんだけど。

ンッ……ちょっと触りすぎよ……んっ………
絶対匂ってるわよね………臭い？
（いい匂い）
やだ、いい匂いなわけないじゃない……
（早くしゃぶって）
あ、うん……私もフェラしなきゃね……ァン…っ……
ぁハァ、、ぁむッ、、、ンッ、、
ンッ、、んふっ、、、、、んぅ、、♡
んふっ、、、、、んっ、、んふぅ、、ふぅ、、、、
（もっとしっかりしゃぶって）
んハァ、、ハァ……わかってる………ンッ……でも気持ちよくて、、、、はむっ、、、んんぅッ！！

んふぅ、、ッ、、、、んふっ！！
ンッ、、、んふっ、、、ジュブッ、、んぐっ、、、、ッ、、んふっ、、ンッ、、、、ッ、、ジュルッ、、、んふっ、、！
（すると相手の手がパンプスに伸びる）、、んふぅ！？、、ぷはっ、、ちょ、脱がしたらイヤ、、
（脱がされる）、、、ッ、、ダメってゆったのに～、、なんでそんな意地悪するのよ……
（ベッドの上では靴は脱がなきゃ）
確かにマナー違反なのはわかってるけど……ってちょっと！ダメ、嗅がないでっ、イヤ～っ！（照笑）
もうヤダぁ、、生きていけない、、、うぅぅ、、
（マジで臭い）
もう…言わないでよぉ……だから臭いってゆったじゃん！
（ずっと鼻を鳴らして嗅がれている）もう信じられない……なんでそんなに変態なのよ～もう。
スンスン……ぅ、、ほら、こっちまで匂ってくる……ずっと閉じ込めてたのにぃ。
（いいからしゃぶって）
わかってるわよ、しゃぶればいいんでしょ……んふっ、、、、、ンッ、、、ジュポッ、、んぐっ、、、
（パンスト破かれる）んんっ！？、、ンハァ、、、、、んふっ、、、んふぅ、、ふぅ、、、、ンッ、、んふっ、、、ジュプッ、、んぐっ、、、
ンッ、、んふっ、、！！

んふっ、、ッ、、、んふっ、、、ジュルッ、、ンハァ、、、ハァ、、、、んぐっ、、ッ、、、
、、、、、んふぅ！！、、ふぅ、、ふぅ、、、んふっ、、、

んはぁ、、、ハァ、、ハァ、、、もう入れて、、、んふっ、、ちゅぷっ、、、んハァ、、欲しい、、、
（何が？）
アナタの、、、オチンポ、、、支配人のオチンポを入れて下さい、、、ッ、、、！

あはぁ……ハァ……ッ…………んふぅ………ンハァ………

（パンスト破られて）ンハァ……ハァ……

（ズブッ！！）あぁぁ゛あッ、、、！！！！

、、ぅ、、ッ、、、、ンハア、、、ぅッ、、、、、、、　　くっ、、、ンッ、、、ンハア、、、ハア、、、、はぅ　ゔッ、、、く
はっ、、、、、、、ッ、、んんぅ、、くっ、、、！

、、、ンッ、、、、、、、、、ハッ、ハッ、ハア、、、、、、んっ、、、ぅ、、、、、、、、くはぁ、、あっ、、、
あン、、、、ッ、、、、、、、、くっ、、、、、ふっ、、、、、、ンハア、、、ハア、、！！

、、、あぁあ　あ゙ぁ、、、、、、ッ、、、、、、、くふっ、、、
ん　ゔんぅう、、、、、、ダメ、、ッ、、、、、イッちゃう、、、、、、、、、ッ、、ハア、ハア、、、ンッ、、、、、ンハア、、、はうッ、、、、
ああ　あ゙ぁ、、っ、、、、
イッちゃう、もう無理、、、、、、、ああぁ　あ゙、、あぁ　あ゙ぁ、、んぉ　づぁ　あ゙っ、、、ッ、、、ンッ、、、んんぅ　ゔうぅッ、、、くっ、、
イクッ、、、、イクイクイグ、、イグゥぅ　ゔっ、、、、、、、ぁっ、、、、くっ、、、！！！

（顔射）んぶっ、、、ぅ、、、あはぁ……ハァ………っ……ハァ………あっつぃ、、、ハァ…ハァ……お肌によさそう、フフっ……ハァ…
ンハァ……お礼にお掃除フェラしなきゃね……ハァ……私の汚いオマンコで……汚しちゃったから………ハァ…ハァ………はむっ………
んぅふっ、、、ッ、、、ジュプッ、、んふぅ、、、ンハア、、、んっ、、
スン、、、んふぅ、、、チュッ、、ンハア、、、ハア、、、
（オチンポに対して）気持ちよくしてくれてありがとう、チュッ♡

第五章　不穏

（数日後、支配人のスマホに非通知から電話が入る）

（電話越しに千尋の録音音声が流れる）

※自動音声『拝啓、しはいにん様。
我々が働いている職場で不倫するなんて許せませんね。奥さんが可哀想です。
この音声データを返して欲しければ、我々にも楠さんの体を触らせて下さい。
明日、十六時に同じ部屋を取っておきました。二人で来て下さい。
来なかったらこの音声データを、奥さんや会社の上層部に送ります。
楠さんにはこの日のようにパンティーを穿かず、ぱんすとを直穿きして出勤するよう伝えて下さい。
チャンスは、一度きりです。必ず二人で来て下さい。失敗したら、即終了です。』

（その電話を受け、千尋に連絡をする支配人）
（効果音：プルルル、プルルル、、）

（電話越しの加工）
もしもし、うん、お疲れ様。今から帰り？今日は遅かったわね。そうなんだ、お疲れ～。
うん…うん………え、明日？パンスト直穿きで…？
でも、明日ってアナタはオフ日でしょ？
うん、うん、うんうん……大事なお客様から予約が入ったんだ。
うん、うんうん………でも、奥さんは大丈夫なの？
元々はオフ日なんだから、そのお客様のチェックインが済んだら上がらせてもらえばいいのに。
そういうわけにもいかないんだ、そっか。
まぁ……アナタがそこまで言うなら私は従うまでだけど。
パンスト直穿きってことは…またお部屋を押さえてあるってこと？
……ちょっと会うペースが早いような気がするけど大丈夫？
…わかったわ、じゃあ明日はパンスト直穿きで……あ、エアコンの温度は弄っちゃダメよ！この前すっごく恥ずかしかったんだから。
うん、じゃあまた明日。楽しみにしてる。おやすみなさい。

（効果音：ツー、ツー、ツー）

（翌日）

あ、支配人。お疲れ様です。

そうですね、今日もなかなか休憩に入れるタイミングがなくて。

え、今日は十六時まででいい？

そんなことして大丈夫なの？奥さんはともかく、スタッフに気付かれるわよ。

しかも勤務中にこんな話をするなんて…ちょっと様子が変よ、何かあったの？

（別に何もないよ）

……そう、ならいいけど。。あ、また今日も空調弄ったでしょ。

またオマンコ臭くなっちゃうじゃない、もう！

あ、お客様、いらっしゃいませ。チェックインはお済みですか？

承知いたしました。ではご案内いたします、こちらへどうぞ。

第六章　引き裂かれた愛

（数時間後）

じゃあ私、お先に上がらせてもらいます。

そうなんです、今日は十六時まででいいって支配人が。

（引き継ぎあります？）

あ、今日は特に引き継ぎ事項はありません。は～い、じゃぁお疲れ様でした。

さてと、一旦一階まで降りて外に出るフリをしつつ、ゲスト用のエレベーターで九階へ。

一九一九号室……イクイクっ♡……な～んてね♪

はぁ…今日もだいぶ汗かいちゃったし、マンコ匂いそうだな。。
足もヤバそう……結局休憩取れなかったし、パンプスも履きっぱなし。
はぁ…私の足くんが可哀想。。むくみも酷いし苦しいよね、絶対。
今ちょっとだけ脱いじゃおっかな……ダメダメ、お客様の乗るエレベーターに匂いが充満しちゃう。

はぁ……緊張してきた。いけないことだってわかってるのに……私のバカ。

(ドアの前に支配人が立っている)

あぁ、早かったのね。どうしたの？中で待ってればよかったのに。
(いや、ちょうど今来たところだから)
そうだったんだ。じゃ、早く入りましょ。誰かに見られたらアウトよ。
…その前に……目隠し？え、何で？
え、何なに、怖～い……ヤバ、ホントに見えないんだけど……
え～ちょっと手繋いでてよ。普通に歩けないから（笑）

※以降『　』は自動音声
『約束通り二人で来ましたね。』

え、なに？

『まずはテーブルにある粘着テープで楠さんを後ろでに縛って下さい。』

え、なんなの？
(ごめん)
…ご、ごめんって……どういうこと？

(効果音)

『しはいにんもそこに置いてある目隠しを付けて下さい。つけないと交渉決裂です。』

交渉って……ちょっと待って、誰かいるの？え？何？どういうこと？？

『あなた達は人として最低なことをしていますね。奥さんがいながら、職場のパートさんに手を出すなんて最低すぎです。そして未亡人とはいえ、それを受け入れているなんて、楠さんも頭おかしいです。』

だ、誰…？知ってる人？？私達をどうするつもり？

『今から我々があなた達に罰を下します。』

え、ちょっと待ってよ。何の権限があってそんなこと…！

『権限ではなく、しはいにんとの取引です。我々にはあなた達の不倫の証拠があります。これです。』

（録音音声を流す）

『この音声データと、楠さんの体の物々交換です。』

体って………

『しはいにんは承諾しています。楠さんとの関係より、奥さんとの関係を選んだのです。』

言われなくたってそんなこと…わかってるわよ……今日急に会うことになったのも、この件があったからなのね…

『説明はここまでです。騒がれても困るので、初めのうちは口を塞ぎます。』

ちょっと待ってよ、目隠しして後ろ手に縛った上に、口まで塞ぐなんて、、（手で口を抑えられる）ん、んんぅ！

（粘着テープでピッタリ塞がれる）ンッ、、んふぅッ！

『しはいにんはその耳だけで、愛人がこれから何をされるのか、想像して下さい。そして、二人で冒した罪を、悔いて下さい。』

、、ッ、、、、ンッ、！

※相手は二人組です

①胸を揉まれる（抵抗感：強）
んっ！？ンッ、、んふっ、、、んんぅ！！
んっ、、、、ッ、、、、んふっ、、んふぅ！！
んふ、、、ンッ、、、、、ふぅ、、んんぅうッ！！！

②マンコ触られながら耳や首筋にキスされる（抵抗感：中）
んふぅ、、！！、、ッ、、ンッ、、、、んっ、、ふぅ、、ふぅ、んふぅ、、、ッ、、、、ンッ、、、、！！

（支配人にもっと声を聞かせる為、近くまで移動して②を続ける）

【正面：近め↓左右にブレながら】
んふっ、、ンッ、、、、、んんっ、、、んっ、、んふっ、、！、、、ッ、、、ンッ、、んふぅう、、、ンンッ、、

③スカートを捲られる（抵抗感：強）
んんぅうッ！！、、ンッ！！

④匂いを嗅がれたり触られたり（抵抗感：中）
んふぅう、、ンッ、、！、、ッ、、、、ンッ、、、んふっ、、！ンッ、、、んふっ、、、！、、、ッ、、、んんぅう！

『約束通り、ぱんすと直穿きですね。楠さんのマンコ、くさいです。』

ん、、んふぅ、、ッ、、

（効果音：カメラ）

⑤カメラ音に驚き股を閉じたりこじ開けられたりの攻防戦（抵抗感：強）
んぅ！？んんぅうッ！！んふっ、、、、ッ、、、、ンッ、、！！
んんぅ、んふっ、、、、ンッ！、、、、んふっ、、、、んふぅう、、、！

（効果音：ローター音）

⑥ローター音に驚き抵抗する（抵抗感：強）
、、ッ！？ンンッ、、んふぅ！！、、ッ、、、んふっ、、、ンンッ！！

⑦股間に押し当てられる（抵抗感：中）

ンンンッ、、、、！！！！、、、、ンッ、、んん ぅ゛、、ン ヅ、、、！、、、んっ、、、んふっ、、、、、、ッ、、、、、んふぅ、！！、、

ふぅ、ふぅ、、、ッ、、、、んんっ、、、ンッ、、、んふっ、、ッ！

⑧もう一人の男に鼻舐め・鼻キスされる（抵抗感：中～弱）

、、、、、ッ、、、ん、、、、、、、、、、、んふぅ、、ふぅ、ふぅ、、

んぅッ、、、、、、、、ッ、、、、、、、、ッ、、んふぅ、、んふぅ、、ふぅ、、！

、、スン、、ッ、、、んふぅ、、ふぅ、、、グスン、、、んふぅ、、！

⑨ローターでイカされる（抵抗感：弱）

※こんなことになるとは思いもよらず支配人との密会に胸を躍らせパンストを湿らせていた千尋。
感じてはいけないと思いつつも、パンスト越しのローターの刺激は千尋を追い詰めます。

、、、、、ッ、、、、んふぅ、、、、、、、ンッ、、、、、、ッ、、、、、、、

ふぅ、ふぅ、、ンッ、、、、、、、、、、んふっ、、、ンッ、、、、、んふぅ ゔうッ、、、、、、、ふぅ、ふぅ、、、ンッ、、、、、、、、ッ、、んん ぅ゛

う、、ッ、、、！

、、、んふぅ、ふぅ、、、ンッ、、、、、、、、ん ゛んっ、、、ンッ、、、、、んふぅ、んふっ、、、、ッ、、、、、、、、ん ゛んッ、、

んん ゔう ゔう、、、、

、、、、んぅ ゔっ、、、ンッ、、、、、、ンン ヅッ、、んふっ、、、、、、、、、ンッ、、ン ヅッ、、、

んふぅう ゔぅぅう ゔう ぅ゛ッ！！！！

（効果音：ローター切）

⑩荒い息遣い→泣き（抵抗感：弱）

んふぅ、、ふぅ、、、ッ、、、、んふぅ、、ふぅ、、ふぅ、、、

ん、、ッ、、、グスン、、、、、、、、んふっ、、、ンッ、、、、グスン、、

んん、、ンッ、、、、、、ッ、、、、、グスン、、、んふぅ、、、ッ、、

⑪口のテープを剥がされる
ンハァ、、ハァ、、、グスン……ッ…………ハァ…ハァ……ッ……誰だか知らないけど…もうやめて下さい…

⑫キスされながら①や④もされる
んむっ、、んんっ！？、、んふっ、、、チュッ、、んふぅ、、、ッ、、、ンハァ、、、イヤ、、！
ハァ、、ンッ、、、チュッ、、、レロ、、んあっ、、、あっ、、、、んふっ、、、ンンッ、、！

⑬キスを振り払い許しを乞う
プハァ、、ハァ、、、ッ、、、グスン、、　もうやめてってば！………グスン……ッ……もう許して……
支配人とはもう会いません……ここの仕事も辞めます……だから…

『では、しはいにんに、聞きます。楠さんの言う通り、ここでやめますか？』

（………）

『ここでやめたら、奥さんも職場も同時に失います。』

そ、そんな…もういいじゃない、別れるってゆってるんだから！
アナタも黙ってないで何とかゆってよ！

『楠さん、あなたが仕事をやめる辞めないは勝手ですが、今後、しはいにんとの関係を絶つのは、当たり前ですよ。
そのうえで、罰を与えているんです。贖罪の気持ちがあるなら、最後まで罰を受けるべきです。
しはいにん、どうしますか？続けますか？それとも、奥さんを捨てて地位も捨てて、愛人と駆け落ちしますか？』

もういい……わかりました。駆け落ちなんてできるわけないし。グスン……続けて下さい。

第七章　献身

『わかりました。では、パンプスを脱いで下さい。』

えっ……

『どうかしましたか？』

……その…今日は一回も脱いでなくて……ちょっと匂いが……

『匂いがナンですか?しっかり説明して下さい。』

……いつもは休憩中にパンプスを脱いで蒸れ対策をしてるけど、今日はその時間もないほど忙しくて……朝家を出てから一度もパンプスを脱いでなくて、凄く蒸れてて、その……きっと臭いと思うから…

『大丈夫です。マンコも臭かったので。』

………ッ……!

『録音データにも同じような内容が入っていましたね。我々にもその匂いを嗅がせて下さい。』

…っ……そういうことね…だから今日も空調が……

『そういうことです。早く脱いで下さい。』

はぁ……わかりました。

恥ずかしい…嗅がないで………っ……ンッ………いや………
スン……ちょっとホントに臭いからヤダ、もうやめて下さい。

『確かに匂いますね。楠さんは綺麗だから、くさくても興奮します。』

……恥ずかしい…

『この使い込まれたぱんぷすも、かなり匂ってます。楠さんも嗅いでみて下さい。』

え、私はいいです、、ちょ、んんぅ、、、、ッ、、、、、ぁぁ、クサい、、、ッ、、！

『自分の匂いに興奮する女性も少なくないようですが、楠さんはどうですか？』

私はそんな趣味ありません、、

『その割には、この前も自分の意思でパンティーを穿かずに仕事をしてましたよね。』

そ、それは…彼がパンスト直穿きが好きだから…

『いつも身だしなみを整えて、綺麗にしている楠さんが、こんな変態だったとは驚きです。
わざとぱんすとをくさくして、しはいにんをよろこばせているなんて。』

好きな人がそれを望むのなら…私はします。たとえ汚くても…臭くても。

『では、ベッドの上で四つん這いになって下さい。』

その前に…少しだけ彼と話をさせてを下さい。

アナタ、ごめんなさい。主人がいなくなった寂しさをアナタが埋めてくれたの。
アナタには奥さんもいるし、惹かれちゃイケない人だってわかってたわ。でも、そう思えば思うほどアナタに惹かれていった。
こんなことになったのも、全部私のせい。だからアナタは悪くない。
私はアナタの幸せの為なら、他人に抱かれることだって………っ……グスン……平気よ。
これからは私みたいな女に引っ掛からず、奥さんを大切にしてあげてね。
今までありがとう。（ほっぺに）チュッ。

グスン……ッ……はぁ…………

（挿入ズブッ！）

はぅう ゔぅ、、、ぐっ、、、ンン ジッ、、、、！！！

あ゛ぅ、、、ンッ、、、くっ、、、、、んぐぅ、、、くはぁ、、、ハァ、、、ぁ、、、か、、、、、ん゛、、、、、、、、んっ、ンッ、、、

ン ジッ、、 ！！！

、、ぁ、、ぁ あ゛、、、、、、ッ、、、うぅ、、、ぐ、、、くっ、、、、、、大き過ぎて、、、、壊れる、、、、

ぅう、、、ッ、、、、、ンッ、、、、くっ、、、、！！

、、、ハァ、、ハァ、、ッ、、、、、、、、、、、くっ、、、、ンハァ、、ハァ、、、こ、こんなの無理、、、、、、ッ、、、、、、

ジンッ、、、！！

(口にも極太チンポをねじ込まれる)、、ハァ、、ハッ、、、ンッ、、んおっ、、、ぉ、、、、んふっ、、、んごっ、、、ンッ、、、、、、、、

ん ゛んぅっ、、、、、、んふぅ ゔッ！！！

(喉奥と子宮奥を同時に突かれる)、、ンゴッ、、、、ぐ、、、、ッ、、、、、、、、、、ごふっ！！

んんぅ ゔぅ、、、、んぶ、、ッ、、、、、、ガフッ、、、、、、ッ、、、、、、ンォォ、、、、、、ぉぇ、、ゴホッ！！

(むせて口を離す)ゲホ、、ゴホッ、、、、ゲホッ、、、んはぁ、、ハァ、、ッ、、、グスン、、、ンハァ、、、ハァ、、

(再度口にねじ込まれる)んおぉごッ、、、グガッ、、、、、ッ、、、ぉぇ、、、ゲホッ、、、、ゴフッ！！！

、、、、、ッ、、、、、、んふっ、、、、、ッ、、、んふぅ、、、、、、んぐぅう ゔ！！

(口を離す)ンハァ、、ハァ、、ゲホッ、、ハァ、、、グスン、、、ンハァ、、、ハァ、、ッ、、、、、

(強引にキスされる)、、んふ、、ッ、、、、チュッ、、、んふっ、、、、ンハァ、、ンッ、、、、、、チュゥ、、、、ンハァ、、ハァ、、、

いやッ、、、

(再度フェラ)ングッ、、、んふっ、、、、、ぅッ、、、、んふぅう、、、、、、ッ、、、、、、んふぅ ゔッ！！

(激しくイラマ)ゴフッ、、、ブッ、、、ぅッ、、、、、、、ンッ、、、ジュルッ、、、ッ、、んふっ、、、ブッ、、、ジュプッ、、、ン

グッ、、、ジュポッ、、んふっ、、、、、、！！！！！

(口内射精され吐き出すイメージ)ぷはぁ、、ッ、、、ゲホ、、、ゴホッ、、、、、

(涎・精液・涙・鼻水でダラダラ)んはぁ、、ハァ、、、つはぁ、、、くはぁ、、、、グスン、、ッ、、、ぁう ゔ、、、、

もうやめて、、、ンッ、、、もうイッたから、、、んん゛っ、、、、もう無理、、、ッ、、、、くっ、、、、、んんぅ゛うう゛ぅ、、、、

、、ッ、、ハァ、、ンッ、、、、もうイケない、、、、くっ、、、、もうイキたくない、、、グスン、、、壊れるぅ、壊れちゃう、、、か
はっ、、、ッ、、、くっ、、、、ぁあぁ゛ぁ、、、ッ、、、、、、ダメ、、ッ、、、ク、、、、イク、、、くはぁ、、、ハァ、、、
ンッ、、、ぁ、、、、イク、、、イクイグ、、、んん゛んッ、、、イヤ、、またイグッ、、、、あぁあ゛あぁ、、ッ、、、！！！！

、、、ッ、、ヒッ、、、、グスン、、ハァ、、ハァ、、、、ッ、、、グスン、、、ヒクッ、、、、ッ、、、ハァ、、、ンハァ、、、、ハァ、、、

（少し間を空ける）

『楠さんの体、最高に気持ちよかったです。ありがとうございました。約束通りデータはお渡しします。
最後に一つだけ。
我々の目的はあなた達を別れさせることではありません。奥さんの為にやっているわけでもありません。
我々はただ、奥さんがいながら楠さんを弄んでいる、しはいにんが許せなかった。
しはいにん、独り占めなんてズルくないですか？
今後も楠さんの体を触らせてくれるのなら、あなた達の関係はむしろ全力で応援します。
悪い話ではないと思いますが。
また連絡するので、お二人で話し合って下さい。
それでは失礼します。我々が部屋を出たら目隠しを外して下さい。』

第八章　あなたが好きだから

ううん、謝らないで。さっきもゆったように、悪いのは私なんだから。私がアナタの優しさに甘えているだけなんだってのもわかってるし。
スン…はぁ……どうする？

何がって…さっきの話。
………こんな思いはもうしたくないって？
じゃあ……別れる？
（………。）
フフッ……こんな思いはもうしたくないって言うわりに…（股間を指でなぞりながら）ここはおっきくなってるみたいだけど？
（そ、それは…）
私がさっきの人達に犯されてるのを聞きながら…黙って興奮してたの？
こんなに勃起させて…私が酷い目に遭ってるのに興奮してたんだ？イケないオチンポくんね……

フェラ、してあげよっか？
（ごめん…）

フフッ…謝らなくってもいいって。男ってそういうモノでしょ？好きとか嫌いとか関係なく、本能だもんね。いいのよ、それで。
（嗅ぐ）スン……ンハァ……私は心を込めてしゃぶるだけ。
（でも、俺は千尋を独り占めしたい）
え？私を独り占めしたい…？奥さんがいるクセに？自分だけ独り占めして、私には独り占めさせてくれないの？
………フフッ、冗談。ありがとう。
でも…さっきの話だとさ、両方は無理よ。この関係を続けるなら、私はまたあの人達に抱かれなきゃ。
そうしないと、奥さんにバラされちゃうわけだし……それが嫌なら別れるしかないでしょ。
（で、でも…）
でも…関係は続けたいし、私を独り占めしたいんだ？私が他の人に犯されるのは耐えられないんだ？
パンツの中は我慢汁でベトベトで…こんなに臭いのに？

スン……スンスン……ッ………はむっ……んふっ………ンッ………チュッ……ジュプッ……んふっ…………ッ…………ジュルッ………
ンハァ…ハァ…ハァ………私はいいのよ、それでも。……ぁはむっ………ンッ……んふっ………ジュポッ……ンッ…んふぅ……ふぅ……ンハァ
……チュッ……ンハァ、ハァ……アナタと一緒にいられるのなら……んふっ……んむぅ………ジュルッ………んふっ………ッ……ンハァ、、
ハァ………ハァ……だって……

アナタが好きだから。チュッ。

んふっ、、、ッ、、、ングッ、、ジュプッ、、、、、んふっ、、、ジュルッ、、、ブッ、、んふっ、、、、ッ、、、ンッ、、、んふぅ、、ン

ハァ、ハァ、、ンッ、、、んふっ、、、ふぅ、、ふぅ、、ッ、、、、、ン、ン、ン、ン、、、、ッ、、、ジュポッ、、ングッ、、、ンッ、、ん

ふっ、、、、、ン、ン、ン、ン、ン、ン、、、、、んふっ、、、ンンッ、、、、

（口内射精）んふっ！?、、、、ッ、、んふっ、、、んふぅ、、ふぅ、、、、、ンッ、、、、、、

（吸い上げながら口を離す）チュゥぅぅ………ポッ♡

（口の中に精液あり）んはぁ、、、はぁ、、、ッ、、、んっ、、、、（飲む）ゴクッ、、、、、んふっ…………ンハァ………ハァ………

このエロ支配人め♡

終わり